


五流尊瀧院宝塔



指定区分	国指定重要文化財(建造物)
読みかた	ごりゅうそんりゅういんほうとう
所在地	倉敷市林
指定年月日	昭和31年6月28日
解説	<p>倉敷市林の五流尊瀧院にある中世の石塔。寺伝では仁治元年(1240)後鳥羽上皇の供養のために造立されたと伝えられる。総高3.8mの花崗岩製の大宝塔で、塔身は円筒、首部は中程に帯をめぐらし、その下方に飛天を線描している。塔身の舍利[しゃり]孔内から火葬骨、歯牙、香木、鉄片などが発見された。応仁の乱の兵火によるとされる焼損の痕跡が塔身に多くみられるが、鎌倉時代の石造宝塔の傑作である。</p>
アクセス方法	下電バス「林」バス停から 徒歩10分
公開状況	
設備	 駐車場
備考	